

第3回子ども・子育て会議で出た素案内容修正に係る意見概要

No.	趣 旨
1	<ul style="list-style-type: none"> 「…眠ったりと」→「眠ったり<u>することで</u>」など、少し説明を加えた方がよい。
2	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に、もう少し平易な言葉がよい。→ 文章の案を考えてきた（※別紙のとおり）。 ※前回のものをベースにしなが、表現を変えたもの。 (前文の方の主語を少し統一、市民が読みやすいようスッキリさせたもの。)
3	<ul style="list-style-type: none"> 「友達や家族と一緒に」というのは、無い方がよい。 近隣の子どもの権利条例（北広島市）のように、4つの柱を元にした前文がよい。 題名は、「江別市子どもが主役のまち宣言」がよい。
4	<ul style="list-style-type: none"> 「しかし」を削除、「すべての子どもは、～暮らせることが大切です。」に修正。 「江別市は、～優先的に考えていく」→「最善の利益を考えるまちを目指すこと」に修正。 「反映するよう取り組みます」→「反映します」がよい。
5	<ul style="list-style-type: none"> アンケートも踏まえ、子どもは「主役」より「幸せ」の方が理解しやすいと思う。 宣言文は、やさしい言葉で誰もが分かるものがよい。 細かく難しい文字を入れるより、やさしい言葉を入れ、誰でも読んで分かるものがよい。
6	<ul style="list-style-type: none"> 項目文案の「権利の主体であることを大切に」というのは硬い印象。 →「<u>かけがえのない存在である</u>」という表現だと、子どもにも分かる。 項目案の2「自らの力」というところ。色々な発達の子どもがいる中で、少し引っかかる。
7	<ul style="list-style-type: none"> 主役について、ここに書いてある必要はないと思う。 子どもが自分の意見、自分が主役で何か考えて案を出していいのかと思えば、いいと思う。 主役という言葉は、幼稚園の頃から学芸会とかもあり、意味は子どもも分かっていると思う。 主役として考えていい、自分の意見が大事にされる、内容が伝わるとよい。
8	<ul style="list-style-type: none"> 今、幸せである子も、幸せでない子も、様々な環境の子どもがいる中で、その子どもの幸せを第一に考えるのだということを、大人たちが共有していることが、すなわち「子どもが主役のまち」ということかと思う。 子どもたちは、いつも幸せを感じているような存在であるべき。 そうでない場合、それをどのように保障していくのかは大人の責任。 ということが、前文のところに滲み出ていると、子どもが主役のまち宣言という意味は、主役脇役、そういう意味ではない、というように伝わるのではないかと思う。
9	<ul style="list-style-type: none"> 未来戦略の1にも掲げられているため、「子どもが主役のまち宣言」がよい。 アンケート結果は、やはり子どもたちが幸せと感じることはそれぞれだ、と分かればよいと、具体的に書かなくてもよいと思う。
10	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの参加する権利を踏まえ、子どもの表現の部分が大事だと思う。 「遊んだり～」の部分を残すことが、子どもを尊重、参加になるのではと思う。
11	<ul style="list-style-type: none"> 「友達や家族と一緒に」のところを「安心して」という言葉に代えるのはありかと思う。
12	<ul style="list-style-type: none"> あれこれ書くと違和感がある人もいるため、ここに無理に詰め込まなくてもいいと思う。 解説文で補完する形にして、宣言の方はもう少しシンプルにしていく方がいいと思う。
13	<ul style="list-style-type: none"> 「自らの力で心身共に成長できるよう」のところ、 「子どもが自らの育つ力を十分に発揮できるよう」という言い換え（表現の仕方）もあるかなと思う。